

2022年10月6日

～秋の読書週間イベント～

読み聞かせ、ライブペインティング、ウクレレ演奏など

絵本作家の長谷川義史さん講演会を10/22に初開催

貸出冊数100万冊突破を記念して、これまでの貸出ランキングなども展示

図書館機能を中心とする複合施設「海南nobinos」(和歌山県海南市)は、読書週間イベントとして、絵本作家の長谷川義史さん講演会「絵本で子どもたちにつたえたいこと」を10月22日(土)、ノビノスホールにて開催します。作家を招いての講演会は当館初の試みで、絵本の読み聞かせやライブペインティング、ウクレレ演奏など、参加者にも一緒に楽しんでもらえるよう企画しました。また、図書館の貸出冊数が100万冊を突破したことを記念して、2020年6月1日の開館からこれまでの貸出本ランキングなども、10月18日から10月30日までギャラリースペースで展示します。

長谷川義史さん「絵本で子どもたちにつたえたいこと」

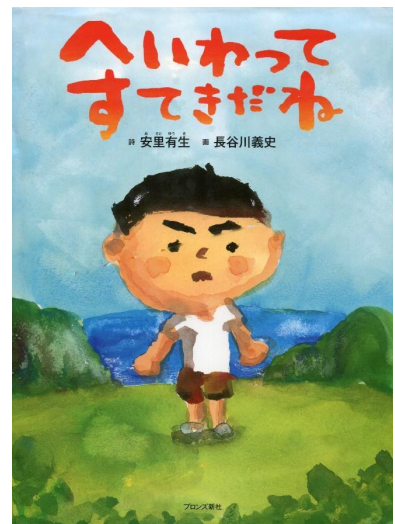
長谷川義史さんは、ユーモラスでおおらかな絵本が大人から子どもまで人気の絵本作家です。戦争や震災など、社会派なテーマにも意欲的に取り組み、平和や日常の大切さ、みんなが笑顔になれる本などをテーマにした作品を多く描かれています。当講演会では、「絵本で子どもたちにつたえたいこと」をタイトルに掲げ、絵本の読み聞かせや、ウクレレ演奏と歌、ライブペインティングなど、お話だけではない、子どもたちが飽きないように工夫した盛りだくさんの内容でお届けします。



開館から2年3カ月で貸出冊数100万冊突破

読書週間にあわせて、例年は1年間の貸出ランキングを展示していますが、今年は9月で100万冊を突破したことを記念して、開館してから現在までの貸出本ランキングや月間の貸出数、平均貸出人数、多い読者層や、一人の平均貸出冊数などさまざまなデータも掲示する予定です。普段から本を読む方にはいつもと違う本を、読まない方には本を読むきっかけになればと考えています。

また、長谷川義史さんの絵本の貸出ランキングも掲示します。当館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。講演会をきっかけに、当館ならではの図書館体験も楽しんでもらいたいと思います。



本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南nobinos 指定管理者TRC海南(担当:谷口)
〒642-0002 和歌山県海南市日方1525-6
TEL:073-483-8739 FAX:073-483-8738
E-mail: trc.kainan@trc-sp.jp
HP <https://kainan-nobinos.jp/>

海南市教育委員会生涯学習課 (担当:山部)
〒649-0121 和歌山県海南市下津町丸田217-1
TEL:073-492-0143 FAX:073-492-3390
E-Mail: yamabe-yohei@city.kainan.lg.jp

■松本作家 長谷川義史の講演会「松本でこもろうにしたいこと」

日時:2022年10月22日(土)

13時00分～14時30分

(12:15 開場・受付開始)

場所:2F ノビノスホール

募集人数:100名

対象:5歳 ～ 小学6年生(保護者同伴推奨)

募集期間:9月23日(金)9時00分～

10月16日(日)21時00分(先着順)

参加費:無料

内容:長谷川義史先生による絵本の読み聞かせやウクレレの演奏、ライブペインティングなどを行います。



■長谷川義史プロフィール

1961年大阪府藤井寺市生まれ。「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」(BL出版)で絵本デビュー。「いいからいいから」(絵本館)「へいわってすてきだね」(ブロンズ新社)「おならまんざい」(小学館)など、ユーモラスでおおらかな絵本が大人から子どもまで人気。また、社会派なテーマにも意欲的に取り組んでいる。「おたまさんのおかいさん」で第34回講談社出版文化賞絵本賞、「ぼくがラーメンたべるとき」で第13回日本絵本賞と第57回小学館児童出版文化賞、「あめだま」で第24回日本絵本賞翻訳絵本賞、第2回やなせたかし文化賞など多数受賞。毎日放送でのスケッチ散歩でも人気を博す。好きなもの温泉とお酒。



■「海南nobinos」施設概要

名称:海南nobinos (カインアン ノビノス)

※「のんびりする」「のびのびできる巣」という意味

所在地:和歌山県海南市日方1525番地6

Access:JR海南駅より徒歩7分

開館時間:9:00～21:30

休館日:12月29日～1月3日

運営:指定管理者 TRC海南

代表団体:株式会社図書館流通センター(本社:東京都文京区 代表取締役社長 谷一文子)

構成団体:株式会社明日香(本社:東京都文京区 代表取締役 萩野吉俗)

:大揚興業株式会社(本社:和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村田弘至)



施設内容:①図書館機能／蔵書冊数14万36冊(うち絵本の冊数5万2277冊)※2022年8月末時点 ②市民活動・生涯学習活動支援機能／ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1 ③子育て支援機能／和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など ④カフェ／スターバックス コーヒー 海南 nobinos店(館内は全て蓋つき飲み物の利用可) ⑤広場

来館者数関西一“賑わう図書館”

海南nobinosは、図書館機能を核としながらも、ホール・貸館、子育て支援機能を持ち、広場のほか、スターバックス コーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えています。ぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。開館以来、子育て世代をはじめ、幅広い年代の方に利用され、年間来館者数は58万人と、人口10万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西一となります(日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿2020」より)。



海南の伝統色で彩った館内の様子